

じん だ い

第79号

2025.4.21 (月)

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院

調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151
URL www.kichijoji-hospital.com

基本理念

患者様やご家族の側に立った医療
患者様の社会復帰を目指す医療
全職員相互の力を発揮できる医療



春のわたげ

Contents

レクリエーション委員会 2024年度 行事まとめ	2
【連載】 どうしよう倶楽部	6
【連載】 本能寺からお玉ヶ池へ ～その②～	7
新入職員コメント	10
【リレー連載】 部署紹介 / 当院のおすすめメニュー	11
外来担当表 / 当院略図 / 編集後記	12

レクリエーション委員会 2024年度 行事まとめ

レクリエーション委員会では、年間のレクリエーション計画を立てて、時間をかけて準備し実施しています。2024年度は、なんとと言っても5年ぶりに開催された文化祭が一大イベント。院庭にたくさんの魅力的な模擬店が並び、近隣の作業所さんにもご協力いただきました。他にも、少し足を延ばして散歩に出かけたり、病棟内での季節感のある行事も各病棟のスタッフが趣向を凝らして企画したりと、患者様に楽しい一時を過ごしていただけるよう工夫を重ねています。

2月には2024年度の振り返りを行い、今年度（2025年）のレクリエーション計画を立案します。毎年、レクリエーションに関してはさまざまなご意見やご感想が寄せられます。諸事情からすべてに応えられないもどかしさもありますが、今回ご紹介するような患者様の声やスタッフの声を参考にしながら楽しいものになるようイメージを膨らませて計画しています。

春



1. お花見 4月3日・4日 院庭にて



- 桜がちょうど見頃で綺麗でした。おしるこも美味しかったです。
- 桜が綺麗に咲いていました。お汁粉を飲んで、心も体もポカポカです。
- 今年のお花見は桜が咲いている時期にできたので、患者さん達と一緒に良かったねと笑い合いました。
- 雨天にて残念ながら外でのお花見はできませんでしたが、4階の窓から見下ろす桜もとてもステキでみんなで見ると楽しい気分になりました。お汁粉も甘くて美味しかったです！
- お汁粉も好評で、桜を近くに感じながら風情良く多くの患者様にご参加いただきました。



2. 植物公園散歩 5月24日 バラフェスタ観覧



- 久しぶりに外出できたのが嬉しかったです。
- 長期で入院されている患者さんが参加できたのが良かったです。
- 色とりどりのバラを楽しみました。バラソフトクリームも絶品だったそうです。
- バラを見ながらドリンクやバラソフトを楽しみました。ゆったりとした時間を過ごすことができました。
- みんなで頑張って植物公園まで歩きました！ 世界各国の珍しいバラが見られるバラフェスタはとても見ごたえがあり、バラのソフトクリームも美味しかったです！
- 多くの種類、見たことがない色のバラが咲いていました。バラの名前の由来など書いてあって勉強になりました。当日は夏のように暑かったけどゆっくり観賞することができました。患者さん達は写真を撮ったりして楽しんでいました。

夏



3. 夏のイベント 7月18日・19日 病棟内でかき氷をいただく



- 久しぶりにかき氷を食べて童心に戻りました！ ・ 練乳が大人気でした。
- シロップやフルーツを選んでいただき、オリジナルかき氷を楽しみました。
- いちごのシロップが大人気でした。フルーツを盛ってかわいいかき氷になるように工夫しました。
- 今年はいつものかき氷にフローズンフルーツをトッピング！ みなさん目をキラキラさせ、ワクワクしながら桃やミカン、イチゴを盛り付けて楽しんでいました。
- ご自身で好きなかき氷シロップを選び、美味しそうに食べていました。
- 「かき氷が食べられたのが良かった」(患者様の感想)。シロップを何種類か用意しましたが、意外なことにパインが最初に売り切れました。



4. 文化祭 10月31日 院庭で模擬店、近隣作業所さんも参加



- 久しぶりの文化祭の開催に患者さん皆さん喜んでいました。やっぱり飲食系の屋台は大人気で、患者さんもスタッフもとても楽しそうに参加していました。
- たくさんの模擬店に目移りしながらも、A4病棟は金魚すくい、もといキャラクターすくいにて参戦。みなさん昔を思い出しながら、いろんな技を繰り出してたくさんすくって満足気でした。
- 食べ物が安くて、美味しく食べられたのが良かった。(患者様の感想)
- なるべく患者さんに参加してもらえるように、お店の看板のイラストを描いてもらい、華やかな看板ができ上がりました。当日は呼び込み担当でも患者さんが参加でき、たくさんの人に声掛けして売り上げに貢献してもらえました。普段積極的に参加しない患者さんも外に出て楽しんでくれている様子がみられました。



5. クリスマス会 12月19日・20日 病棟内、ケーキ・ムース提供、サンタ隊登場



クリスマス会「サンタ隊」集合写真
名誉院長・栄養科長・作業療法科長・その他作業療法士たち

- サンタさんと一緒に「きよしこの夜」を歌い楽しい時間を過ごしました。
- ビンゴ大会は「レッツビンゴ！」の掛け声で盛り上がりました。お菓子の詰め合わせの景品も喜んでもらえました。
- サンタさんと一緒に歌を歌ったり、毎年恒例のBINGO大会では患者さん同士で教え合う姿も見られ、和気あいあいとしたクリスマス会でした。

- サンタクロースと一緒に歌を歌い、ケーキ・ムースを食べ、楽しまれました。クリスマスツリーを点灯させたり、雰囲気も良かったです。
- クリスマス会はインフルエンザの流行でできなかったけど、ケーキやムースが食べられたので良かった。(患者様の感想)
- 原藤サンタが登場した時、大きな拍手が起こりました。一緒に写真を撮りたいと言っている患者さんもありました。ケーキとムースはみんなが待ちきれないくらい好評でした。クリスマス会終了後には「楽しかった」という意見が多数聞かれ嬉しかったです。



6. 深大寺散歩 (初詣) 1月24日 深大寺、門前甘味処



- みんなで「おみくじ」を引きました。生まれて初めて凶を引いた患者さんは逆に嬉しそうにしていました。甘味処では、なっぺ餅を食べました。思った以上にお餅感が強くて塩味が効いていて美味しかったです。
- みんなでお参りをした後に、おみくじや甘味処で食事をしました。中々普段食べることのないおやしお団子、ソフトクリームなど美味しいものを堪能しました。
- みんなで頑張って深大寺まで歩いた後は、まずはみんなで初詣！ その後はお団子やまんじゅう、そばパンなど深大寺グルメを満喫。帰りはヘトヘトでしたがなんとか自力で病院に帰りつき、みんな笑顔でした。
- 天気が良かったです。お参りをした病院では食べる機会がない団子やおやしを食べることができました。患者さん同士で「来てよかったね」と話しており楽しまれました。深大寺までは徒歩で距離がありましたが、患者さんは元気に帰ってくることができました。

春



7. お花見 3月27日・28日実施予定 院庭

年々開花が早くなるので、新年度を待たずに年度末に企画してみました。満開の桜が見られたら良いなと期待しています。からだを温めてくれる飲み物は、お汁粉からコーンポタージュに変えてみます。患者様の評判はどうか、今から楽しみです。



このコーナーでは、精神科病院がどのように進化し、社会において「頼れる存在」になるために取り組んでいるかを詳しく掘り下げていきます。偏見やネガティブなイメージを払拭し、メンタルヘルスに対する理解を深めてまいります。

医療と福祉の連携で 障壁をなくすインクルーシブな社会を目指して

医師 澤井 大和

現代社会において、4人に1人が生涯のうちに何らかの精神的な不調を経験するとされています。しかし、精神科医療に対する理解が十分でないために、必要な支援を受けられずに困難を抱えている方もいらっしゃいます。その中で、吉祥寺病院など精神科病院が果たす役割は、治療の提供にとどまらず、地域との連携を通じて、安心して生活し続けられるよう支援することにあります。

1. 社会とのつながりを支える取り組み

精神的な不調がある方の中には、仕事を続けることが難しくなったり、家族との関係が希薄になったりするケースがあります。精神的な不調を抱える方を家族が支えている場合、責任感の強さゆえに「家族がなんとか支えなければ」と考え周囲に相談することを控えてしまう方も多くいらっしゃいます。親御さんが高齢になるにつれ、ご家族だけでなく、家族以外の支援者と連携した支援が必要になることがあります。

吉祥寺病院では医療を提供するだけでなく、精神疾患をもつ人やご家族が福祉や地域社会との連携がとれるようにサポートしています。精神保健福祉士が相談窓口となり地域の支援者と連携するお手伝いや、ご家族向けに家族教室やファミリーサポートセミナーを開催しています。

2. 地域移行支援

吉祥寺病院と地域福祉が連携する取り組みの例を挙げます。精神科病院では、かつて長期入院が一般的でしたが、近年では退院支援の動きが進んでいます。吉祥寺病院では、長期入院を経た方々が地域で自分らしい生活を送れるよう、地域にある福祉施設

と連携して「地域移行支援」を行っています。住居の確保や生活支援だけでなく、地域での自立生活を実現するための伴走型支援です。

地域にある福祉施設には、退院した後の健康維持のための支援に力を入れてくれるところもあります。メンタルヘルスの課題を抱える方の中には、生活習慣病を併発する方も少なくありません。特に近隣にある社会福祉法人巣立ち会では、支援者が内科受診に同行し一緒に説明を聞くことで、内科治療の必要性を本人に分かりやすく共有し、身体的健康を維持できるお手伝いをしてくれています。

3. 医療と地域が支える共生社会へ

現在、精神科医療では、科学的根拠に基づく治療 (Evidence-Based Medicine) だけでなく、患者と医療従事者が共同で意思決定を行う「共同意思決定 (Shared Decision Making)」や、一人ひとりの価値観を尊重した「価値観に基づく医療 (Value-Based Medicine)」が求められています。吉祥寺病院では、巣立ち会など地域の支援者と連携して、誰もが自分の価値観に沿って生きられるよう取り組んでいます。

メンタルヘルスの課題は、誰にとっても身近なものであり、精神疾患の有無を問わず支え合いながら生きる、インクルーシブな社会をつくるのが大切です。そのためには、精神科医療に携わる人だけでなく、地域に暮らす全ての人が、精神疾患について正しく理解し、地域全体で支え合う意識を持つことが重要です。

本能寺からお玉ヶ池へ ～その⑬～

医局 西岡 暁

雪とけて 村いっばいの
子供かな (与謝蕪村)



著者近影

「雪とけて」春。
雪浅き街・江戸にも春は
やって来ます。この「本能寺
からお玉ヶ池へ」の道行は、
5度目の春を歩きます。

昔々、まだお玉ヶ池が「池」だった頃のお話です。徳川家康が1601年(慶長6年)に「東海道」を拓いた時、その起点は本芝(現・港区芝4丁目)でした。翌年、日比谷入り江を埋め立て、芝浜が江戸前島と地続きになると、(平川の支流(現・日本橋川)に)「日本橋」を掛け、東海道の起点とします。東海道を芝から日本橋まで延ばすにあたって汐留川とその北の水路にもう一つ新しく橋を架けました。汐留川の橋に「新橋」の名を譲った(?)北側の橋には、京に向かう東海道の最初の橋であるのに因んで「京橋」の名が付けられました。京橋の北詰西側に「京橋大根河岸」と呼ばれる青物(=野菜)市場が、北詰東側には「京橋竹河岸」と呼ばれる竹問屋街が出来、250年以上の長きに亘って賑わいました。

京橋の北東1kmほどに「歌川広重住居跡」(@中央区京橋1丁目)があります。案内板が立っていますので、読んでみましょう。

「浮世絵師歌川広重(1797～1858)が、嘉永二年(1849)から死去までのおよそ十年間を過ごした住居跡です。広重は、幕府の定火消組同心安藤源右衛門の長男として、八代洲河岸(現在の千代田区丸の内二丁目)の火消屋敷で生まれました。……晩年に描いた『名所江戸百景』は、当時大鋸町と呼ばれていたこの地での代表作です。」

痘瘡の治療法、予防法がなかった当時、「痘瘡絵」と呼ばれる赤絵が「痘瘡除け」として盛んに使われ、広重も描いています。絵柄は、「為朝」や「鍾馗」「達磨」「金太郎」などがありました。その効果からか



歌川広重「名所江戸百景 京橋」
出典：ウィキペディア

広重は痘瘡には罹らなかったようですが、痘瘡除けの決定打である種痘を施す場が江戸にも「お玉ヶ池種痘所」として開かれた僅か4か月後、コレラに斃れました。享年61。旧暦9月6日(1858年10月12日)の広重忌は、秋の季語になっています。

あをあと 暮るるも露の 広重忌 (加藤 秋 軒)

余談になりますが、落語「芝浜」の枕で三代目桂三木助(1902～1961)は、こう語ったそうです。「……翁の句に 明ぼのや しら魚しるきこと一寸 なんてえのがございますようですが……」

これは、芭蕉さんが1684年(天和4年)「野ざらし紀行」で伊勢の桑名に寄った際に詠んだ句です(から、「翁」は芭蕉さんのことですが、この句の芭蕉さんは39歳ですから、幾ら江戸時代とは云え「翁」と呼ぶには若くないですか?)。芭蕉さんが詠んだ白魚は伊勢湾のものですが、三木助はその句を江戸の芝浜の瀬の枕に使ったのです。日本橋長浜町

の蘭方医（で桂川甫周に学んだ）・武井周作の「魚鑑」によれば、「（白魚は）備前平江、伊勢桑名に多し。武蔵角田川および中川のものも桑名の種といへども、水美なれば魚もまた美なり。」とあり、江戸の白魚は、実は「桑名の種」なのでした。

落語「芝浜」の時代は勿論、三代目三木助の（若い）時代まで白魚漁は江戸の春の風物詩でした。ただ白魚漁は、（芝浜ではなく）隅田川（＝「魚鑑」では「角田川」）河口辺りで盛んに行われ、歌川広重も名所江戸百景「永代橋佃しま」として描いています。また、（京橋川の西の）三十間堀の東岸には「白魚河岸」（＝江戸城に白魚を献上する「白魚役」の屋敷地）がありました。



歌川広重「名所江戸百景 永代橋佃しま」
出典：ウィキペディア

[27] 京橋南伝馬町

「本能寺の変」の中心人物・斎藤利三の子孫である（と思われる）7代将軍・徳川家継は僅か8歳でこの世を去ったため、8代将軍に就いたのは家継の親族ではなく、皆様ご存知、徳川吉宗（1684～1751）です。吉宗は、家継の祖父・徳川綱重（4代将軍家綱の弟、5代将軍綱吉の兄）と同じく家康の曾孫です。ですから、徳川将軍家は家康の血族です

が、家継を最後に斎藤利三の血族ではなくなりました。

吉宗の嫡男・徳川家重（脳性麻痺で言語障害があったそうです。村木嵐の小説「まいまいつぶる」は家重を感動的に描いています。）が9代将軍だった1747年（延享4年）、大坂の菓子職人だった小倉喜右衛門は、「江戸にも上方の美味しい菓子を」と意気込んで江戸に下り、京橋鈴木町に菓子店「大坂屋」を開きました。今の「京橋江戸グラン」の向い側「レム東京京橋」（@中央区京橋2丁目）の建つ辺り、歌川広重宅から南東に250mの処です。

小倉喜右衛門には子供がいなかったので、姪の恂を養子とし、恂は唐津藩主・水野忠光の側室になって忠邦を生みました。唐津藩は、明智光秀の孫（で、お玉ヶ池種痘所発起人・三宅良斎の先祖）・三宅藤兵衛が仕官した寺沢広高が藩祖ですが、藤兵衛が討ち死にした「島原の乱」の後、大久保家、松平家、土井家を経て1762年（宝暦12年）から水野家が藩主となり、忠光はその3代目、忠邦が4代目です。1805年（文化2年）、忠邦が世嗣となり恂が小倉家に戻されると、恂が二代目喜右衛門を婿に取りました（ので、その後に生まれた3代目喜右衛門は水野忠邦の異父弟です。）水野忠邦（1794～1851）は（唐津藩時代は勿論、浜松藩に転じた後も、義父となった喜右衛門の）大坂屋を藩の御用達としました。二代目喜右衛門の時大坂屋は、鈴木町から（すぐ隣と云っても良いほど近くの）南伝馬町（同じく現・京橋2丁目。「みずほ銀行京橋支店」辺り）に移転します。

水野忠邦が幕府老中に就いた時の将軍は（11代）徳川家斉（1773～1841）で、次男・家慶（1793～1853）に将軍職を譲った後も大御所として君臨しましたが、家斉の死後忠邦は、家慶将軍の下で「天保の改革」を推し進めました。改革にあたって忠邦は、家斉派を排して新勢力の幕閣を組織しましたが、その中で「小普請奉行」に登用したのが佐渡奉行だった川路聖謨です。

川路聖謨を憶えていますか？ [6]で述べたように、「お玉ヶ池種痘所」が誕生した処は、当時勘定奉行になっていた川路聖謨の下屋敷でした。お玉ヶ池種痘所が開かれた時の将軍は、家慶の四男・家定（1824～1858）です。家定は（も？）、16歳の時に痘瘡に罹り、顔に痘痕が残ったそうです。将軍になってから発症した脚気（お玉ヶ池種痘所開所の二か月後の）悪化に際して幕府奥医師に初の蘭方

医（伊藤玄朴、戸塚静海の二人）を採り立てた人で（したが、その僅か3日後に逝去しました。享年34。）、その正室はあの（2008年の大河ドラマのヒロイン・）天璋院篤姫です。

「天保の改革」は苛烈なものだったため、庶民は苦しい生活を強いられ、水野忠邦を怨む者が続出しました。1841年（天保14年）秋、忠邦が失脚すると、その噂を聞きつけた数万（!?）とも云われる江戸市民が江戸城西丸下の忠邦の屋敷（@千代田区皇居外苑1丁目）を襲撃し、その様子が川柳に詠まれました。一見してお分かりのように、この句は芭蕉さんの名作「古池や……」の句の本歌取になっています。

ふる石や 瓦とびこむ 水の家（詠人知らず）

さて、話は更に半世紀ほど遡ります。大坂屋の菓子はその佳味が好評で、唐津藩水野家のみならず諸大名家の御用達となっていきました。それら諸家の一つ、陸奥白河藩の藩主・松平定信（徳川吉宗の孫で12代将軍候補になったと云われ、大河ドラマ「べらぼう」にも登場しています。1759～1829）からは、上屋敷（@中央区八丁堀1丁目）が大坂屋のご近所だったこともあって、とても鼻息にして貰ったそうです。その御縁で大坂屋は、定信の雅号「風月」を屋号に賜って「風月堂」になり、苗字をそれ迄の小倉から「大坂屋」に因んで「大住」に改めました。

話は変わりますが、お玉ヶ池種痘所発起人（の一人）・三宅良斎の住まいの西ほど近くに幕府葦山代官・江川太郎左衛門（1801～1855）の江戸屋敷（@墨田区亀沢1丁目）がありました。近所の誼からか、この江戸屋敷は良斎の患家でした。屋敷跡の説明板にはこう書かれています。

「……日本に西洋砲術を普及し、葦山に反射炉を築いて江戸防御のため、江戸湾内に数ヶ所あった砲台（お台場）を造りました。また、日本で初めてパンを焼いた人物だともいわれています。……嵐で遭難し、米国の捕鯨船に救われ、ほぼ十年振りに帰国した中濱萬次郎を敷地内の長屋に住まわせ、英語を講義させたといわれています。」

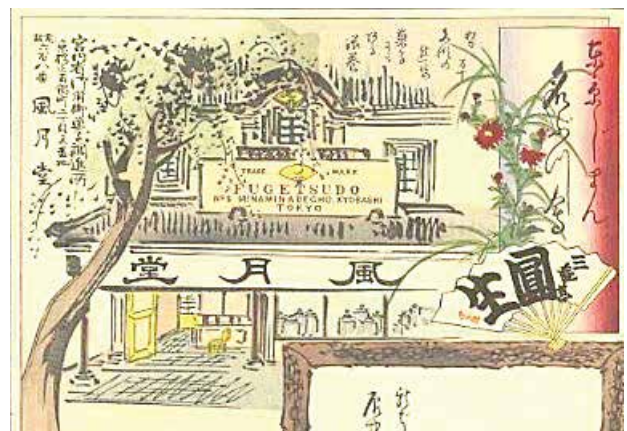
「日本で初めてパンを焼いた」ことから、江川太郎左衛門は「パン祖」と呼ばれます。ただその場所は、

江戸屋敷ではなく本邸（@静岡県伊豆の国市菰山）の方で、菰山の江川屋敷には「パン祖江川坦庵先生邸」碑が建てられています。

パンは兵糧として優れていたことから、その後各地に普及して、戊辰戦争にあっては江戸・京橋南伝馬町の風月堂が1868年（慶応4年＝明治元年）、官軍の兵糧としてパンを納めました。芝日陰町（現・港区新橋2丁目）に日本初のパン屋＝文英堂（現・木村屋総本店）が開店してパンの製造、販売を始める一年前のことでした。その4年後の1872年（明治5年）、風月堂5代目・大住喜右衛門は、洋菓子製造に乗り出します。そして風月堂の番頭だった米津松造が暖簾分けして両国若松町（現・中央区東日本橋）に開いた「米津風月堂」が「明治20年、三宅秀がヨーロッパより持ち帰ったカルルス煎餅を模倣して…」（「東京風月堂社史」）商品化しました。この三宅秀の渡欧は、当時の日本の医学が（次回に述べる慈恵医大を除けば）ドイツ医学に偏っていたことに疑問を抱いてヨーロッパの医学事情を視察するのが目的でした。三宅秀の「カルルス煎餅」と云うのは、ボヘミア（現在のチェコ西部）にある温泉保養地カルロヴィ・バリ（Karlovy Vary；ドイツ語でKarlsbad）の焼き菓子「オプラツキー」（チェコ語でウエハース）のことで、このカルルス煎餅は、1927年（昭和2年）に米津風月堂が発売し（て今では全国各地の風月堂の主力商品になった）た「ゴーフル」の基になりました。

風月の ゴーフルとゞく 避寒かな

（久保田万太郎）



梅素薫「東京自慢名物会 宮内省御用御菓子調進所 風月堂」
出典：東京都立図書館デジタルアーカイブ

新採用者ご挨拶



- ① 出身地
- ② 吉祥寺病院の第一印象
- ③ 私のモットー
- ④ 最近ハマっていること

A・R (事務)

- ① 福岡県
- ② 事務部に所属しており、患者さん、家族様、職員の方を目にすることが多いのですが、退院された患者さんが担当していた看護師さんを見かけると、声をかけている姿をよく目にするので、アットホームな病院だなと思いました。
- ③ 視野とアンテナを広く持ち、わからないことはそのままにせず、進んで勉強し、さらにレベルアップしていくことです。
- ④ 過去の映画、ドラマ、アニメを観たり、自分が食べたいと思ったお菓子を作ること。また、休日は愛犬と遊んで時間の許す限り一緒にお昼寝をすること。

I・K (看護師)

- ① 東京都
- ② 明るくてきれい
- ③ 生活が大事。無理しない
- ④ ギターの練習。石

I・T (看護師)

- ① 山口県
- ② 多くのお花に囲まれた病院
- ③ よく眠り、よく食べ、よく遊ぶ
- ④ ロッテのチョコレートを食べること

K・S (看護師)

- ① 宮城県
- ② 全員が優しく、明るく理想の職場だと思った
- ③ いつだって今日が人生のピーク
- ④ お散歩です！ 近くに色々なものがあるので歩いていて楽しく、好みの店を見つけたりしています！

K・S (PSW)

- ① 埼玉県
- ② アットホームな雰囲気だと感じました
- ③ 自分らしく
- ④ ガチャガチャ、ドラマ鑑賞、ちらし寿司を食べること

S・K (看護師)

- ① 北海道
- ② カンファレンスが盛んで、患者さんにしっかり向き合っている病院だと感じました
- ③ 私は私
- ④ 音楽。メジャーからインディーズまで幅広く聴きます。バンドが好きです。月に4～5本ライブに行きます。最近10万以上するギターを買いました。ギターの沼は深い

S・K (看護師)

- ① 北海道
- ② 綺麗で明るい
- ③ いつでも元気に明るく笑顔でいること
- ④ 音楽鑑賞

S・A (看護師)

- ① 東京都
- ② みなさんが優しく穏やかで、全体的に落ち着いた雰囲気だと感じた
- ③ できないなら何倍も努力
- ④ 乃木坂 46

T・M (看護師)

- ① 東京都

- ② 明るく風通しの良い環境で居心地良く感じたことが初めて吉祥寺病院に訪れた時の印象です。
- ③ あらゆる人や場所や物に誠実であること！
- ④ “一人〇〇”にハマっています。誰かで行った場所にもう一度1人で行ってみたい、新しい職場に1人で行ってみたい……どこまでいけるかチャレンジしたり考えてみたいしています！

T・A (看護師)

- ① 東京都
- ② かわいい建物だな～
- ③ 人生なんとかなる
- ④ アニメ、ゲーム、舞台

H・K (看護師)

- ① 福島県
- ② 素敵な庭園がある、明るい雰囲気職場だなと思いました
- ③ 人に優しく
- ④ 古着屋めぐり。休日に昼からビール

H・R (看護師)

- ① 神奈川県
- ② 吉祥寺病院に初めて訪れた際、スタッフの皆さまが患者様一人ひとりに温かく接している様子がとても印象的でした。
- ③ 「笑顔と感謝を忘れずに」どんな状況でも前向きな姿勢で取り組み、周囲への感謝の気持ちを大切にしています。
- ④ 最近はサンリオのキャラクター「クロミちゃん」が好きで、彼女のテーマカラーであり紫色のアイテムを集めることにハマっています

M・R (看護師)

- ① 大阪府
- ② 職員同士が仲良く、人間関係が良いと感じた
- ③ 笑顔
- ④ 料理を作ること

M・K (看護師)

- ① 東京都
- ② A棟の建物がキレイ
- ③ 患者さんに寄り添ったケアができる
- ④ テレビを見る。松屋に行く

M・R (看護師)

- ① 東京都
- ② スタッフのみなさんが明るく、活気がある
- ③ 人に優しく、自分にも優しく接すること
- ④ ちょっと昔のゲームをすること

M・A (看護師)

- ① 東京都
- ② 職員の皆さんの雰囲気が良かったことが印象的でした
- ③ マイペースに楽しく過ごすこと
- ④ 美味しいご飯屋めぐりにこれからハマりたいです

Y・R (看護師)

- ① 新潟県
- ② 昨年の11月より入職しましたが、わからないことを教えてくれるだけでなく、日々、色々なお声かけをしてくださり、優しい方が多い病院だなと思いました
- ③ 「素直でいること」。人とかがわっていく上で特に大切にしています

園庭から鬼門の方向、裏口より霊安室斜め前の重たそうな鉄扉の先が栄養科です。

職員は現在1名が必置義務な管理栄養士の私と、事務担当の子育中ママさんスタッフらを筆頭に1000食/日の給食提供を富士産業株式会社様の管理栄養士、調理師、昨今の社会を反映してベトナム、モンゴルの技能実習生さん達、約17名で栄養科を運営しています。

業務をざっくりとご説明すると①給食業務②栄養管理業務③栄養指導になります。②の栄養管理業務を病院職員が担当し、指示に従って①の給食業務を富士産業株式会社様に担当していただきながら、合間に私が③の栄養指導を行うという仕組みになっています。他所の病院も同様に、この仕組みは医療法に基づいて役割が明確に分かれておりますが、お互いの限度・領域を踏まえつつ、想像力を働かせて善処するというカラーが当院栄養科の良いところと思っています。

それを私が強く印象を受けたのは、コロナ渦中や現在進行形の急激な物価高です。

どちらも急転直下に対応が求められ、社会が混乱に陥っているのは皆様も肌でお感じになっていると思います。他部署からの地道なご協力もあり、お陰様で発生当初から足並みを揃えて対応に腐心してもらえ、先日の東京精神科病院協会の加盟病院で行った食材費調査では平均を大きく下回った結果に落ち着いています。

私は以前、福祉施設の新設事業で平均的な同業者に比べて多くの



患者さんの症状に合わせた栄養補助食品のサンプルです。お気軽にご相談ください

給食施設を担当してきましたが、その中でも当院栄養科スタッフと他部署の皆様共に良くぞ善処して下さったと思っています。

②の栄養管理業務ですが、国のルールに従って約30種類の給食栄養設定、個人の栄養量を算出、病状を把握し都度食事提供、退院までの状況を重症度に合わせて1・3・6・12ヶ月毎に評価し全員記録に残すという一連の流れになります。今年度から診療報酬改定に伴い“GLIM基準”の導入が国から求められ、これ病棟ごとに管理栄養士配置できる大病院がという心の声に耳栓をして病棟看護師の皆様にも入院スクリーニングで関わっていただきます。

患者さんの栄養状態改善には病棟はもとより多職種からの情報が大事な手掛かりとなります。③栄養指導は②の業務に付帯した体になります。①②③どれも他部署からの連携がないと成り立ちません。どうか引き続きご助力をお願い申し上げます。

現在、私が定年までに発芽すればラッキーと、栄養サポートチーム(NST)や摂食嚥下関連業務に必要な研修をちまちまと受けております。

実はもう資格持ってるからご教授してもいいぞという方いらっしゃいましたら、迷わず天岩戸みたいに閉まっている栄養科の扉を叩き散らかしてください。お待ちしております。



ご飯は一つ一つ、常食も特食も計量して盛りつけています

当院のおすすめメニュー

鰯のおろし和え

材料

- ①缶詰などの鰯煮……お好みで
- ②大根おろし……お好みで
- ③かいわれ大根……お好みで

ローリングストックを使用して簡単にもう一品

作り方

1. ①を器に盛る
 2. ①に②と③を添える
- これで出来上がりです。
お好みで柚子や生姜、七味などを添えてください。



外来担当表

● 初診

	月	火	水	木	金	土
第1週	畑	岡田	森	田澤	狩野	市川
第2週	中村	山室	澤井	宮崎	西岡	池田
第3週	畑	岡田	森	田澤	狩野	市川
第4週	中村	山室	森(※)	宮崎	西岡	池田
第5週	畑	岡田	森	田澤	狩野	市川

● 再診

	月	火	水	木	金	土
午前	土井 市川 森 田澤	院長 土井 市川 西岡 山室 池田	原藤 森 西岡 山室 岡田 狩野	市川 田澤 山室 畑 宮崎 中村	市川 森 西岡 岡田 畑	森 西岡 山室 狩野 亀山
午後	澤井		森(※) 澤井	相馬 西本	森(※) 塚本 永尾	小島

受付時間

- 月～金 午前 9時～11時 (初診・再診)
午後 1時～ 3時 (初診)
※午後の再診は事前予約の場合受け付けています
- 土 午前 9時～11時
午後 入院は受け入れています

当院は「敷地内全面禁煙」です。



調布市深大寺北町4-17-1

編集後記

寒さも和らぎ桜の花が咲く季節になりました。新年度の始まりで、新入生・新社会人のスタートの時期でもあります。当院にも期待と不安を抱きながらフレッシュな職員が入職しました。昨年度の自分を振り返って、良かった箇所はさらに上を目指して精進し、納得が行かなかった箇所やり残した箇所は振り返りをして今年度は満足できるように頑張りましょう。

ペンネーム |

いつも冬に春号の編集、春に夏号の編集……と季節を先取りしているじんだい編集部です。今年は春に新入職者のご挨拶を載せたい！ 入稿に間に合わせたい！ という思いが高まり入職初日に早速 Mottoーをお伺いしてしまいました(笑)

ただでさえ初日に緊張されているところ、新入職者の方々には取材に応じていただき感謝です。

ペンネーム りか